

城の ながきある山

歴史トレッキングガイド

かないやま 金井山城跡 トレッキング

自然の地形を利用した山城

S ← → 往復約1時間半

S 旧金井山駅 ↓5分 あづま屋 10分 登山口 金井山城跡

※行き50分/帰り40分



①あづま屋 ▶眺めのよい休憩ポイント。水道もある。



③石垣 ▶主郭の手前に石垣が組まれている。



④本郭 ▶二つの郭に分かれしており、南端の高くなっているところに主郭があったと思われる。



②堀切 ▶大きな岩場など、地形を利用した深い堀切が2ヶ所つくられている。



遊歩道はここまで。
この先登山道

金井山
平和観世音

不動心
(小さな建物の後方に
不動明王の石仏がある)



大室古墳群
第456号墳

眺望あり
あづま屋

登山口

金井池

千曲川新道
(廃線跡)

柴(アルピコ交通)

403

寺尾小学校

阿弥陀堂

大峰寺

(真田信之の墓
真田信之靈屋)

5 ● 山本勘助の墓



⑤山本勘助の墓 ▶川中島古戦場の対岸に武田信玄の軍師として知られる勘助の墓がある。



金井山城について

城主は金井氏と伝えられている。詳細は不明だが、古くは尼巖城の出城で、その後は、寺尾氏の支城となったと考えられている。本郭は二つに分かれて石垣で区切られており、小さな古墳を壊さずにそのまま土塁に取り込んでいる。本郭と二の郭の間には大きな堀切があり、巨岩などの自然の地形を活かしたつくりとなっている。



金井山について

松代の東北に半島のように突き出している金井山。かつて山際を千曲川が流れしており、瀬替えのあと残ったと思われるが、ふもとの金井池。金井山城のすぐ下に鳥打峠があり、この要所をおさえる意味もあったと考えられる。また、金井山は「紫石」と呼ばれる石材の産地で、岩山である。

アクセスマップ



ながきある山城
トレッキングガイド
WEBサイトはこちら

